

2019年度 教育活動における具体的行動計画

学校名(熊野市立五郷小学校)

学校教育目標
目指す学校像
目指す子ども像

『豊かな心と確かな学力を備え、しなやかに生きようとする子の育成』
『(児童・保護者・教職員が)明日も来たいと思う学校』
『いさとの子…いつも笑顔で【人権】、ささえあい【協働】、とことん考え【学力】、のぞみもち【キャリア】、この五郷を愛する子【郷土】』

重点目標	具体的行動計画	到達度のわかる目標		
確かな学力を育む教育活動 「学力向上の取組」	①学力の向上 ・授業研究を核とした授業改善と検証 ・言語活動の充実と思考力・判断力・表現力の育成 ・学調、みえスタの分析と授業改善 ・複式授業スタイルの構築(学習リーダー・自主学習能力) ・小中連携による9年間の学びの構築	一人年1回以上の研究授業(指導主事招聘)と外部講師による研修会を実施。 積極的に校外の研究会や研修会に参加。(一人年2回以上) 新学習指導要領実施に向けた校内研修会の実施。(年4回以上) 「授業が分かる」と答える児童90%以上。 「授業が分かる」と答える保護者90%以上。 単元テストで学習内容の80%以上の定着。 学調やみえスタを全職員で分析し授業改善に活かす。 全国学力学習状況調査やみえスタチェックで三重県平均を上回る。		
	②特別支援教育の充実 ・一人ひとりの違いに寄り添った学習・生活支援を推進 ・子ども理解と支援体制の充実	校内委員会(支援会議)を月に1回開催。 SCや県自閉症・発達障害支援センターとの連携。(校内研修、ケース会議の実施) 特別支援学級児童のパーソナルカルテの作成。 「先生は自分をよく分かってくれている」と答える児童90%以上。 「学校は子どもをよく理解しようとしている」と答える保護者90%以上。		
	③家庭学習と読書の習慣化 ・家庭と連携した計画的な家庭学習の推進 ・学力定着と自学する力の育成 ・全学年での音読や読書活動の推進 ・図書室の充実と図書館教育の研究	「学習の手引き」の配付。たより等での啓発。 「家で進んで勉強をしている」と答える児童80%以上。 「学校は家庭学習の充実を図っている」と答える保護者90%以上。 市立図書館ボランティアによる年3回の読み聞かせの実施。		
	安心安全と豊かな心を育む教育活動 「安全安心な学校づくり」	①安全・防災教育の推進と組織体制の確立 ・自分の命を自分で守ることができる児童の育成 ・教職員の危機管理意識の向上と組織力の強化	避難訓練④、交通安全教室①、防犯教室①、防災教室①の実施。 防災ノートの計画的な利用。 「自分は火災・地震時の行動が分かっている」と答える児童100%。 「学校は子どもの安全確保対策に努めている」と答える保護者90%。 危機管理に関わる教職員アンケートで肯定的な評価が100%。	
		②道徳性・人権意識の育成 ・いじめや差別のない安心安全な学校づくり ・違いや良さを認め合い、支え合う仲間づくり ・道徳授業と人権教育の充実と推進	「学校は楽しい」と答える児童90%以上 「友達に親切にしたり仲良くしている」と答える児童90%以上。 「学校はいじめを許さない仲間づくりをしている」と答える保護者90%以上。 道徳年間指導計画の見直しと完成。	
		③人とつながる力の育成 ・ソーシャルスキル、コミュニケーション能力の育成 ・「出番・役割・承認」を基盤にした活動 ・自己肯定感や自尊感情の育成 ・他校、地域、小中との交流学習	地域や中学校との連携した学習を実施。(農業体験、運動会、文化祭、収穫祭、環境学習など) 日常生活や行事において、一人ひとりの活躍の場をつくる。 他校との交流の機会を設定。(4校交流会、修学旅行、水泳、夢の教室等) 「自分には良い所がある」と答える児童90%	
		地域とともにある開かれた学校づくり 「透明度の高い学校づくり」	①地域学習(五郷学習)の充実 ・五郷で学ぶ場の設定 ・学習活動のねらいの明確化と工夫 ・五郷を愛する子を育成	地域や中学校との連携した学習を実施。(農業体験、運動会、文化祭、収穫祭、環境学習など) 「地域学習は楽しくためになる」と答える児童90% 「学校は地域に根ざした活動をを大切にしている」と答える保護者90%
			②小中・地域連携の推進と充実 ・小中一貫を目指した取組 ・地域一体型行事の推進と充実 ・コミュニティスクールの推進と充実	小中合同研修会を年4回以上。(研究授業、9年間のカリキュラム) 地域や中学校との連携した学習を実施。(農業体験、運動会、文化祭、収穫祭、環境学習など) 学校運営協議会を年3回の実施
			③情報発信の充実 ・たより、HP、報道機関による発信 ・授業参観や学校公開の推進 ・学校評価、関係者評価の充実	たより月1回、HP更新月1回、地元紙の活用(月1回程度) 学期に1回の授業参観、各種行事への参加呼びかけ 「学校の様子はたよりやHPで知ることができる」と答える保護者90% 学校評価のPDCA化(各学期でスモールステップの評価実施)
			④教職員が働きやすい環境づくり ・校内安全衛生委員会の活用と定例化 ・時間外労働縮減、会議時間短縮、定時退校、休暇取得	時間外労働の縮減(月平均30H以内、上限45H) 会議時間の短縮(1H以内の会議70%) 定時退校日の設定と実施(毎週金曜日、達成率70%) 休暇取得の推進(一人年間20日以上)

※行は、数を増やしたり、減らしたり、高さを上げたりしてもかまいません。列の幅はなるべく変更しないようにしてください。